

埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会 令和7年度 活動報告

★令和7年度は、219法人／239施設・63社協の会員の皆様と協働しました★

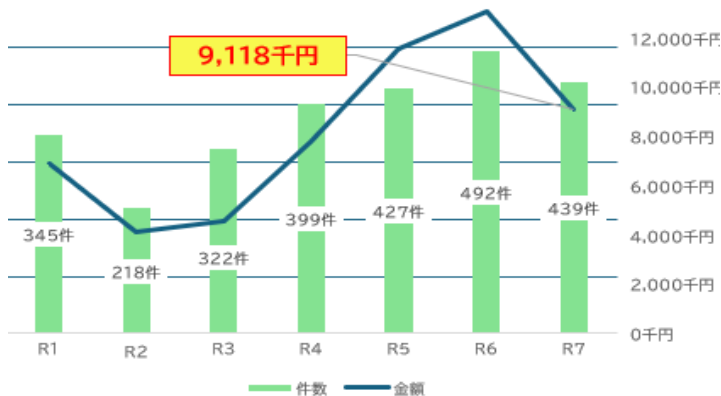
1 彩の国あんしんセーフティネット事業（相談支援）

物価高騰等の影響により、年間の現物給付額は高止まり傾向

R7年度の1件あたりの平均現物給付額は33,895円、年間の現物給付合計金額は9,117,750円となりました。過去最高となった昨年度よりは減少したものの、依然高い水準で推移しています。

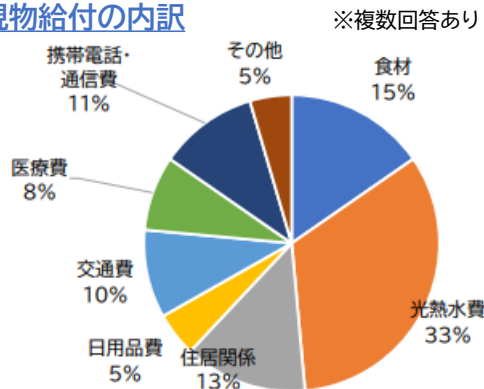
実施施設数
(R8.3月末時点)
191施設
63社協

○相談件数と現物給付金額(R1～R7)



○主な紹介経路 市区町村社協、自立相談支援機関、行政(生保担当等) など

○現物給付の内訳



2 就労支援

相談数の増加・女性への支援が増加

相談件数は年々増加しています。男女比では、前年度までは男性の支援が多かったですが、R7年度は初めて女性が上回りました。支援後の状況では、就職が決定した方が過去最多となりました(支援施設での清掃パート等)。

登録施設数
(R8.3月末時点)
45施設

○R7年度実績 ※()は累計

受入件数：30件(187件)

支援者数：24名(149名)

【性別】

女性	13名	男性	11名
----	-----	----	-----

【支援対象者 年齢構成】

10代	1名	40代	7名
20代	3名	50代	8名
30代	3名	60代	2名

【支援後の状況(支援中を含む)】

就職(就労支援施設等)	8名
関係機関で支援継続	15名

○主な紹介経路

自立相談支援機関、行政(生保担当等)、市町村社協

3 衣類バンク事業

市町村社協との連携により多くの子育て世帯へ衣類をお届け

○支援人数と衣類の数(H30～R7)



衣類バンク実施施設が収集した

衣類を、市町村社協を通じて

フードパントリー等の困窮者支援団体へ提供。多くの子育て世帯に子ども服をお届けすることができました。

実施施設数
(R8.3月末時点)
69施設

こういった活動は
とても助かります。
ありがとうございました。

いつもありがとう
ございます。
すぐ助かります。
大切に使用させていただきます。

(衣類を受け取られた方からのメッセージ)

4 その他事業（基金を活用した取組）

○食料支援

年3回の食料支援を実施し、彩の国あんしんセーフティネット事業の相談者や窓口に来られた方などにお渡ししました。

第1回(4月) レトルト牛丼
第2回(7月) ゼリー飲料・味付きパックご飯
第3回(12月)レトルトスープ(3種類) 合計 13,334個



○こどもの居場所づくり支援 冷凍庫寄贈

子ども食堂やフードパントリーなどの団体へ冷凍庫を寄贈し、取組を支援しました。

支援団体数:27件

○外部研修助成金

推進協議会各種事業に関連する内容の研修について、参加費を助成しました。

助成件数:12件(6施設・6社協) 助成金額:97,500円



5 市町村域における公益的な取組支援事業

埼玉県社会福祉法人経営者協議会、埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会、県社協の3者が一体となり、市町村域における地域の公益的な取組の促進を支援する事業を実施しています。

個別支援:1社協
助成支援:2件 140,000円



6 企業・団体からの寄贈

多くの企業・団体の皆様から衣類や食品等のご寄付をいただきました。

いただいた品は、各事業の支援や会員施設・社協の取組を通じて、生活にお困りの方へお届けしました。



7 会議・研修の実施

○各事業担当者のための会議・研修:

- ・セーフティネット相談員養成研修(4-5月)、ブロック会議・研修(7-8月)、フォローアップ研修(10月)、専門研修(12月)、
- ・就労支援担当者研修(6月)、就労支援事業所連絡会(10月) ・衣類バンク事業連絡会議(11月)

○市町村域における公益的な取組情報交換会に代わりアンケート調査実施(1-2月)

○推進協議会の運営等:

- ・運営委員会(年3回)、幹事会(年3回)、推進連絡会議(7月、1月)、社会貢献支援員連絡会議(毎月)

8 愛称（あんしんポケット）の決定・動画作成

本会事業広報活動をより効果的に実施するため、幹事会・運営委員会において検討した結果、愛称は「あんしんポケット」に決定しました。

併せて、事業PR動画も制作し、あんしんポケットホームページに掲載しました。会員の皆様におかれましても是非、法人ホームページ等での掲載にご協力ください。

